

第6回 青森県総合教育会議

日時：平成29年8月28日(月)14:00～

場所：青森県庁南棟2階 第三応接室

次 第

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議 事

「本県教育の現状と課題を踏まえた教育施策の方向性について」

(1) 概要説明（教育政策課長）

(2) 意見交換

4 閉 会

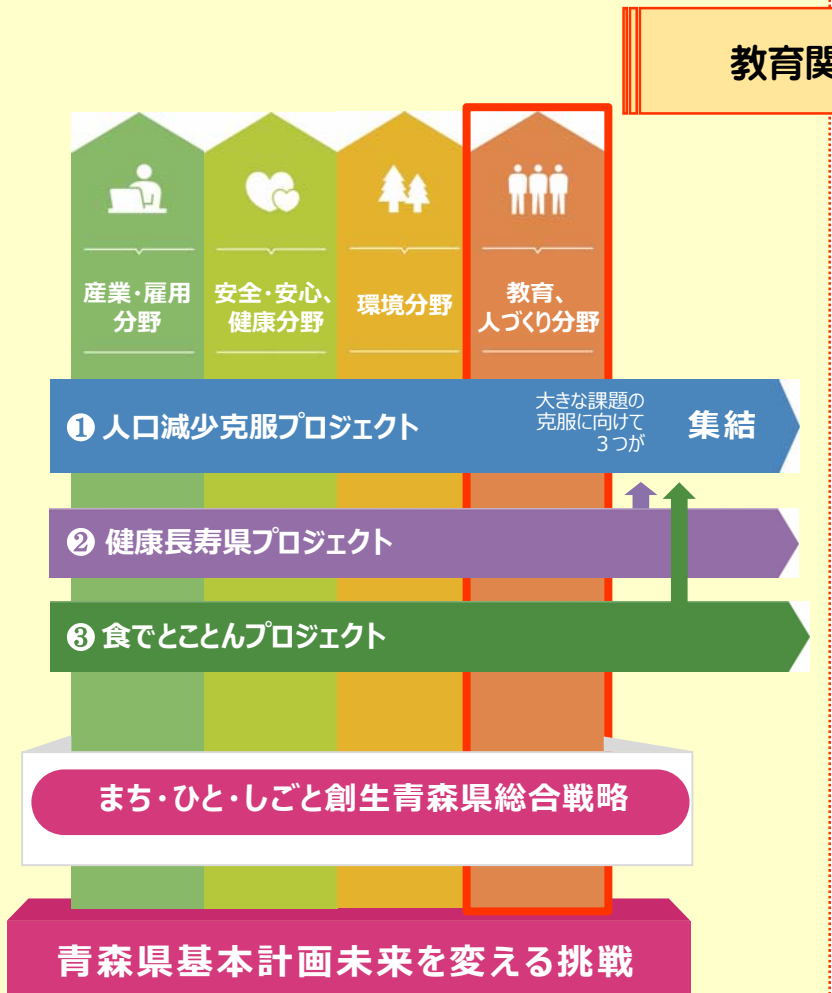
第6回青森県総合教育会議

本県教育の現状と課題を踏まえた
教育施策の方向性について

平成29年8月28日

教育施策の位置付け

【県の基本計画の全体像】



教育関連施策

青森県
教育振興基本計画

青森県
教育施策の大綱

施策の重点化

H29県教育委員会施策の柱

1 学ぶ意欲や主体的に探究する力の向上

- ・基礎的な知識・技能の習得
- ・主体的・対話的で深い学びの実践による、意欲的に学ぶ姿勢、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に探究する力等の向上

2 子どもを守り支え安心して学べる教育環境づくり

- ・高校生に対する修学支援
- ・小・中・高等学校におけるいじめ等の対策
- ・特別支援教育の充実

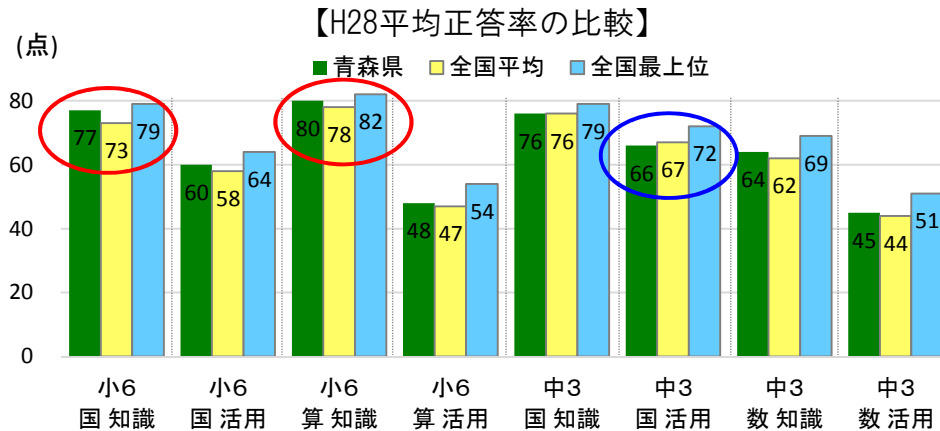
3 地域の多様な教育資源の活用による地方創生

- ・郷土を知り魅力を発信できる力の育成
- ・高等学校における職業教育の充実
- ・児童生徒の将来の県内定着を推進するための学校・家庭・地域企業等のネットワーク強化
- ・子どもの運動・栄養・休養を総合的に捉えた生活習慣の改善
- ・国民体育大会の本県開催に向けた取組

1 学ぶ意欲や主体的に探究する力の向上

現状・課題

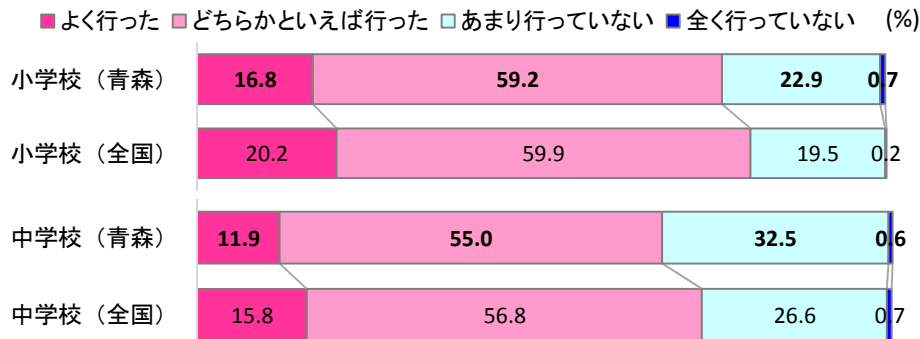
○小学校は全教科で全国平均を上回っている。(国語・算数の知識は最上位県との差はわずか。)
中学校の国語活用は全国平均を下回っている。



資料：文部科学省 全国学力・学習状況調査

○授業において課題の解決に向けて話し合う等の学習活動を行った割合は、全国平均より少ない。

【課題の解決に向けて話し合い等の活動を行った割合】



資料：文部科学省 全国学力・学習状況調査 (学校質問紙調査)

基本的な方向性

主体的に学ぶ力の育成

基礎的知識・技能の習得とともに、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現する力や、学習意欲の向上に取り組む。

＜平成29年度の取組＞

- ・きめ細かな学習・生徒指導の実施のための少人数学級編制
- ・小・中学校の授業改善や指導法の改善に向けた実践研究
- ・高等学校における深い学びの視点に基づく探究型学習の実践研究、合同発表会の開催等

国内外で活躍できる人財の育成

郷土の歴史・文化の価値、自然や産業の持つ魅力を理解し、誇りを持って青森を発信できる人財や、国際社会に貢献できる人財の育成に取り組む。

＜平成29年度の取組＞

- ・県内他地域等への農山漁村体験留学の実施
- ・小学校における外国語の教科導入等への体制整備
- ・中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催
- ・高校生を対象とした国内外での体験型学習を通じた実践力育成

国の動向等

□ 学習指導要領の改訂

- ・主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習過程の改善
- ・小学校の外国語教育の教科化や高等学校の「公共（仮称）」の新設等、教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

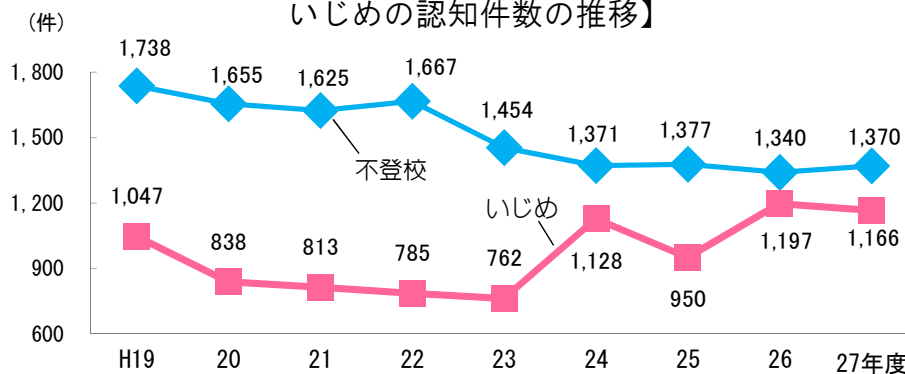
□ 高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革（高大接続システム改革）に向けた対応

2 子どもを守り支え安心して学べる教育環境づくり

現状・課題

○公立学校において、不登校の児童生徒数は減少傾向。いじめの認知件数は、積極的に認知し、早期の対応・解決を図ることとしたため増加。

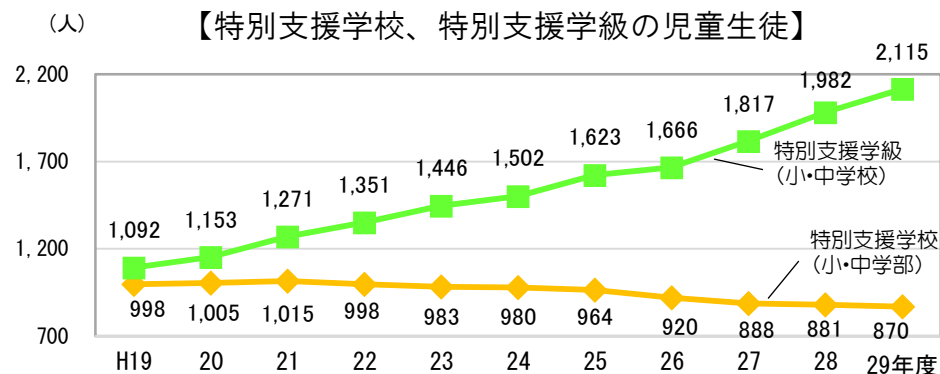
【公立学校における不登校児童生徒数、いじめの認知件数の推移】



資料：文部科学省 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

○小・中学校における特別支援学級の児童生徒は増加。

【特別支援学校、特別支援学級の児童生徒】



資料：県教育庁調べ

基本的な方向性

子どもを見守る環境づくりの推進

他人を思いやる心・命を大切にする心や規範意識・倫理観の醸成など豊かな心の育成を推進するとともに、いじめや不登校、問題行動等への学校の組織的対応強化に取り組む。

＜平成29年度の取組＞

- ・スクールカウンセラーの全公立中学校へ派遣、スクールソーシャルワーカーの派遣の拡充
- ・いじめ等の問題の早期発見・早期対応に係る組織的対応の強化等のため、校内組織の活性化等中核となる教員（ハートフルリーダー）に対する研修等

特別支援教育の充実

障害のある子どもたちが持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人ひとりの特性や成長に応じた適切な指導に取り組む。

＜平成29年度の取組＞

- ・発達障害等、特別な教育的ニーズのある児童生徒の学びを支援するための体制整備
- ・普通科及び産業科を設置する八戸高等支援学校開校
- ・青森県版「特別支援学校技能検定・発表会」の実施
- ・高等学校における通級による指導の調査研究

国の動向等

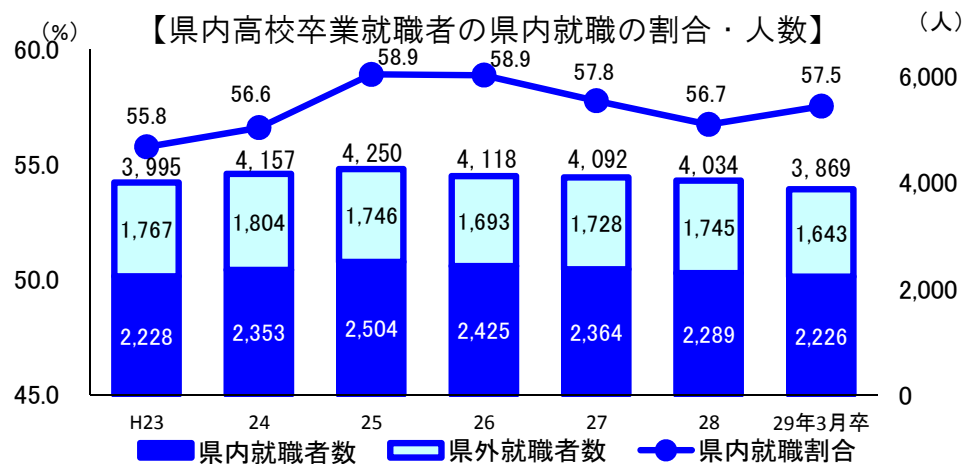
- 学校におけるいじめの認知力の向上及び組織的対応の強化に向けた「いじめの防止等のための基本的な方針」の改定
- 平成31年度までにスクールカウンセラーを全小・中学校、スクールソーシャルワーカーを全中学校区へ配置（目標）
- 高等学校における通級による指導の制度化（H30年度から）**3**

3 地域の多様な教育資源の活用による地方創生

① ふるさと青森の地で活躍する人財の育成

現状・課題

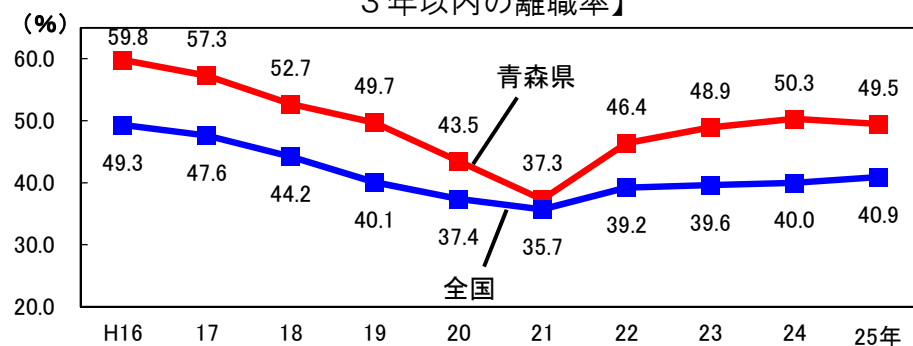
○県内高等学校卒業後就職した者のうち、県内企業に就職した者は50%台後半で推移。



資料：県教育庁調べ

○県内企業における若年者の早期離職率は、40%台後半で推移。

【県内企業における新規高等学校卒業者の就職後3年以内の離職率】



資料：青森労働局

基本的な方向性

地域で活躍する人財の育成

小・中・高等学校の学校段階に応じて、地域や青森県を理解するための取組を推進し、地域で活躍する人財を育成する。

＜平成29年度の取組＞

- ・地域産業と学校をつなぐため、地区ごとに小・中・高等学校、企業・商工団体等によるネットワークの形成
- ・小・中学校における将来の夢や志の実現に向けた体験型学習の実施
- ・高等学校と県内企業のネットワーク強化と理解促進のための相互訪問の実施
- ・農業科及び工業科の高等学校における地域資源を活用した課題解決型学習の推進

社会人・職業人として必要な能力と態度の育成

県内企業における離職率改善に向けて生徒の志望を踏まえた就職支援を行うとともに、生徒一人一人に社会人・職業人としての自立に向けて必要な資質・能力・態度を育成する。

＜平成29年度の取組＞

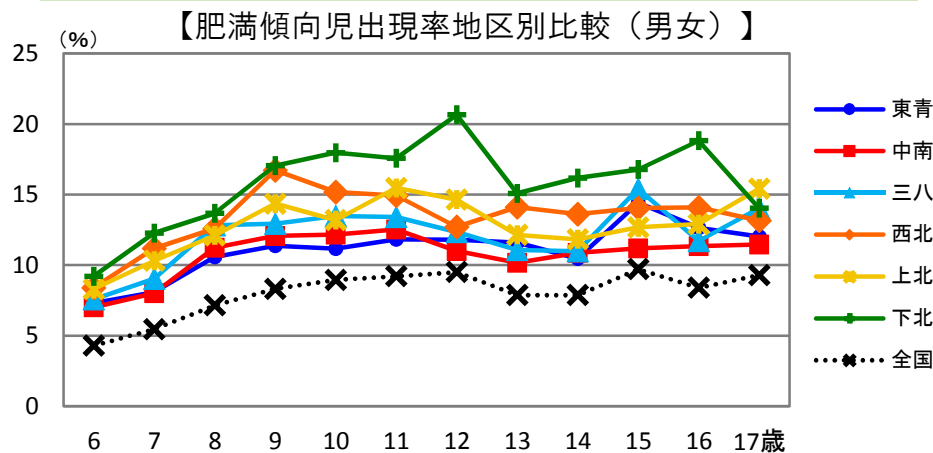
- ・体験活動（インターンシップ等）及び演習（ビジネスマナー等）について系統的な指導の実施
- ・高校生を対象とした資格取得等のための講座、外部講師による社会人基礎力研修会等の開催

3 地域の多様な教育資源の活用による地方創生

② 健康長寿県の実現に向けた健康づくり

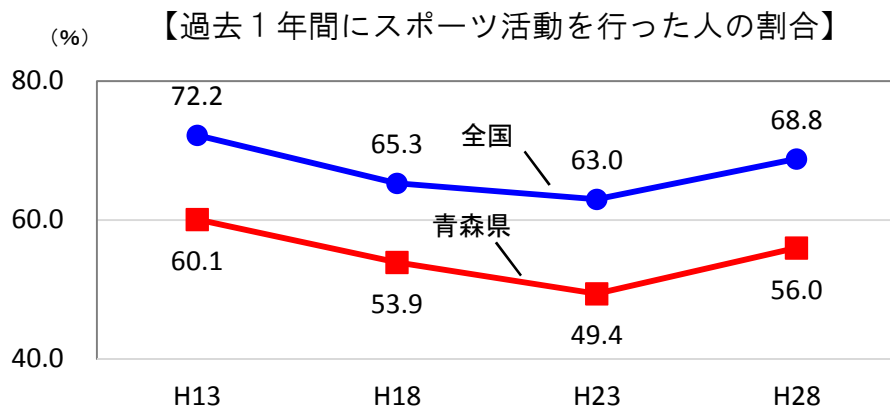
現状・課題

○全国と比較して、本県では肥満傾向児出現率が高い状況が継続。



資料：県教育庁 平成28年度児童生徒の健康・体力

○スポーツを行った人の割合は、全国平均より低い状態が継続。



資料：総務省 社会生活基本調査

基本的な方向性

望ましい生活習慣の定着による子どもの健康づくり推進

子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向けて、学校、家庭、地域が一体となった取組を推進する。

＜平成29年度の取組＞

- ・小学校等における健康や体力向上の改善プログラムの作成、実践
- ・個別健康管理プログラムを活用した生活習慣の改善や歯科保健指導のための実践研究等の実施
- ・市町村の子育て施策への反映に向けた0歳児からの家庭教育支援方策の調査・研究

スポーツを通じた健康づくりの推進

年間を通してスポーツに親しめる環境づくり及びスポーツを通じた県民の健康づくりに取り組む。

＜平成29年度の取組＞

- ・女性や中高年・高齢層を対象とし、年齢・体力・運動能力に応じた運動メニューの企画・提案、スポーツ健康教室等の開催
- ・若手指導者の育成・資質向上、ジュニア選手の発掘・育成、国民体育大会の本県開催を見据えた競技力向上対策本部の設置